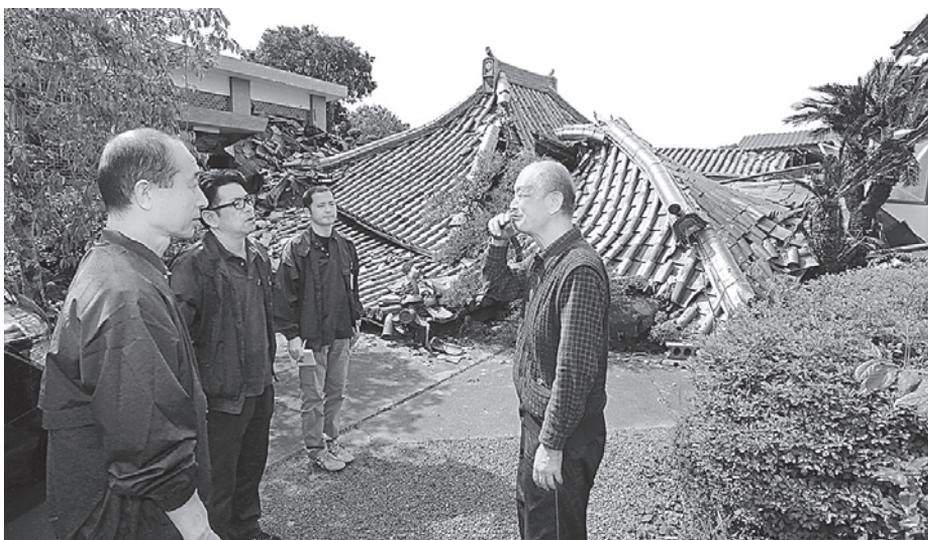


宗派総局が被災地見舞う

霍野総務が熊本、大分へ 宗門挙げ支援約束



熊本地震緊急災害対策本部の霍野廣紹副本部長(総務)は4月20、21日、災害見舞いと現地視察のため、熊本、大分両教区を訪れた。20日は農利信・熊本教区教務所長の案内で熊本県南阿蘇村、益城町、熊本市の6カ寺と同教区教務所を、21日は錦織信貴・大分教区教務所長の案内で大分県由布市の3カ寺と同教区教務所を見舞った。

霍野副本部長は両教務所長や被災寺院の住職らから、14日の地震発生以降、教区内の寺院や門信徒の安否確認と被災状況の把握に努めてきた経緯などの報告を受けた。

一方、光岡理學総務 熊本別院の直属寺院のは4月22日から24日まほか、佐賀教区の被災で、熊本地震への対応 寺院7カ寺、熊本教区のため、佐賀教堂、長の2カ寺を訪問し見舞 崎教堂、大牟田別院、 った。

光岡総務は佐賀、長崎、熊本



本堂屋根の瓦崩落などの被害があった佐賀県神埼市の光顕寺(廣江頭住職)

本堂が全壊した熊本市東区・浄福寺の浄住護雄住職を見舞う霍野廣紹総務(左)

本堂・納骨堂倒壊な

し訳なく、心が痛む。局地的だが大分の被害も深刻」と訴えた。霍野副本部長は、必要な物資や支援について聞き取りを行い、宗門挙げて支援に当たることを約束した。